

中野市立博物館 年報 9

2025（令和 7）年度

刊行にあたって

博物館運営の年度ごとの状況に関しては、従来から年刊の「教育要覧」等で記録化してきている。これらは教育委員会所管事業のまとめとして、博物館の社会教育的・統計的側面を主としている。しかし、博物館活動は多方面において過去を継承したうえで、それを新たに発展させることが基礎となっている。そこで従来の不足を補い、将来へ伝えるべきアーカイブズとして年報を発刊することにした。できれば、将来、「紀要」的側面も付加して充実をはかりたい。

なお、収蔵資料目録の公開方法は別途考慮している。

< 目 次 >

I	博物館の概要	1
1	沿革	
2	施設概要	
3	館外施設	
	館略図	2
II	組織	3
1	博物館協議会	
2	令和7年度組織・職員	
III	展示	4
1	展示室	
2	水彩画展示室	5
3	企画展	
4	プラネタリウム	
5	エントランスミニ展示	6
IV	講座等	7
1	講演会	
2	学芸員講座	
3	市民主体の講座	
4	体験講座	8
5	その他の館内講座等	10
6	館外講座	
V	資料	11
1	収蔵・展示する指定文化財	
2	資料利用	12
VI	運営・利用実績	13
1	運営	
2	入館者・利用者	14

I 博物館の概要

1 沿革

一本木公園内の歴史民俗資料館（1981 年建築、468 m²）を移転して、2009 年 4 月に市立博物館が発足し、展示室は同 5 月 1 日から公開している。

施設は文化公園（都市建設課所管）内の旧「創造館」（展示・研修・休憩施設、1991 年開館）を改修したものである。展示室以外は従前の基本設備を踏襲しており、博物館としての機能面で十分でない点がある。

また、水彩画展示室・展望室・講堂等はそのまま無料エリアとして受け継ぎ、公園施設としての機能も果たしている。

柳沢遺跡出土品（重要文化財）の受け入れに伴い、2012 年から展示室の一部を大改修して保存・展示環境を整え、2014 年から指定品の収蔵展示室として公開している。

旧歴史民俗資料館は一本木公園内で美術品等の展示館（都市建設課所管）として利用されている。

2 施設概要

R C 3F 延床面積 2,007.78 m²

展示室 2 室 計 594 m²、研修室 3 室 計 128 m²、プラネタリウム 133 m² (100 席)、収蔵庫 83 m² 2 層（考古・古文書・民俗・歴史資料）、展望室 44 m² (3F)
ほか （次ページ参照）

※ 収蔵庫には、展示資料のほか、寄贈・寄託品・県埋蔵文化財センター移譲資料を収蔵。

3 館外施設

・収蔵庫（敷地内） L S 2F 延床面積 119.08 m²

図書資料・文化財行政資料・考古資料・民俗資料・美術品等を保管。

・旧倭小学校南校舎 2 階教室 3 室および体育館ピロティ

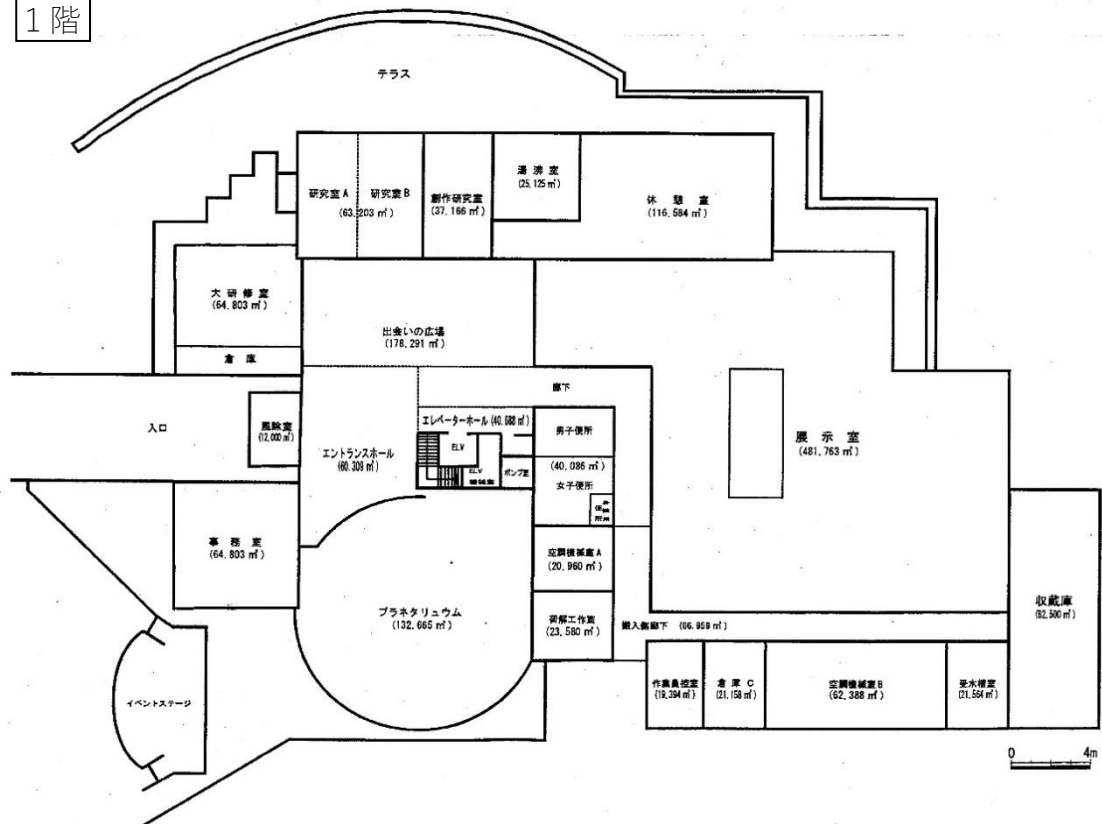
2024 年まで旧中野高校に収蔵していた、1973 年に地域住民により収集された民俗資料を中心とした旧豊井小学校民俗資料倉庫の収蔵資料やその後に博物館が収集した旧永田小・旧科野小・旧倭小・旧長丘小の収蔵資料を含めた民俗資料等を教室に保管している。

2024 年まで旧中野高校に収蔵していた、2019 年に平野倉庫から移動した考古資料約 1,000 箱と、2024 年に一本木倉庫から移動した考古資料約 5,000 箱をピロティに保管している。

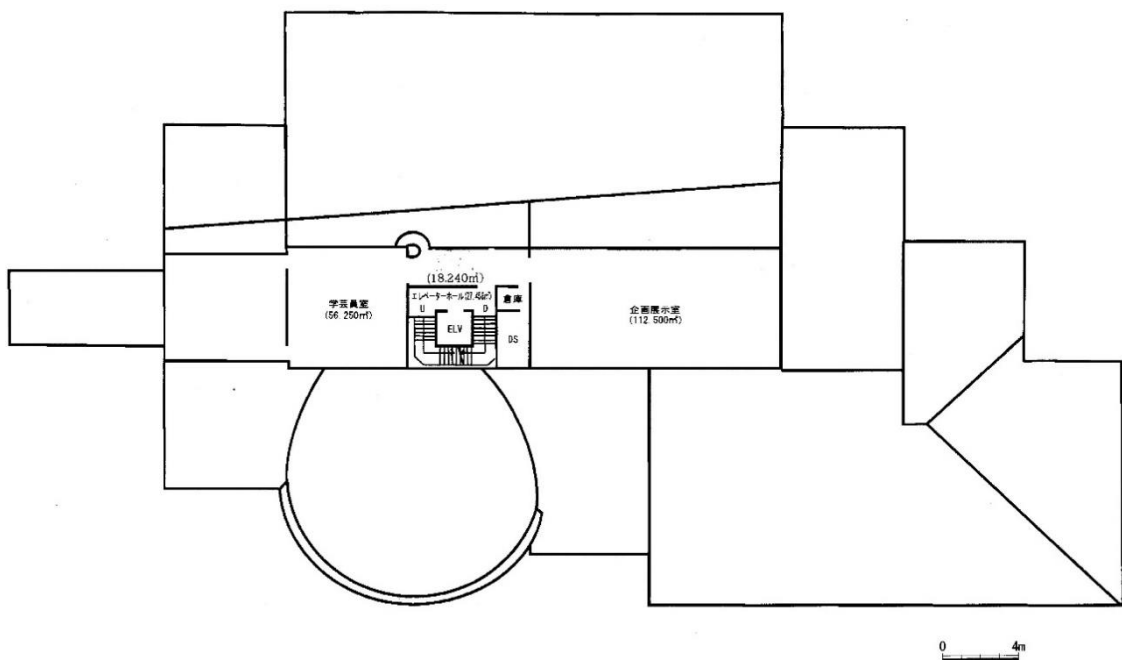
・一本木展示館床下

民俗資料 1,909 点を保管。

1 階



2 階

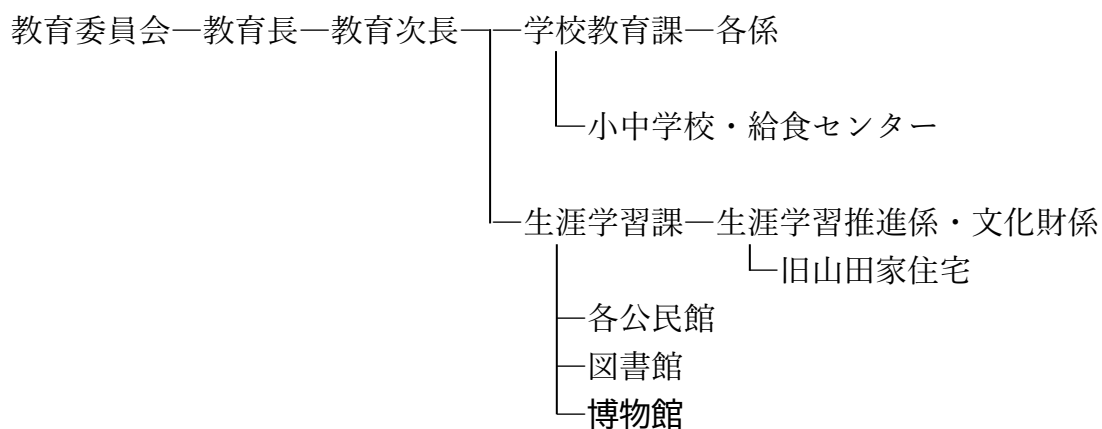


Ⅱ 組織

- 1 博物館協議会 任期2年（令和6年6月1日～令和8年5月31日）
- 会 長 大西 浩次(長野工業高等専門学校教授) 学識経験者(天文学)
- 会長代理 水澤 教子(長野県立歴史館学芸部総合情報課専門主事兼学芸員)
学識経験者(考古学)
- 委 員 仮屋 慶一(中野市社会教育委員) 社会教育委員
- 千野 美奈(豊田小学校長) 学校教育関係者
- 土屋 積(中野市立博物館 前館長) 学識経験者
- 寺島 正友(高井地方史研究会会長) 学識経験者
- 宮下 宏(信濃教育会教科用図書研究部部長) 学識経験者
- 山崎 圭(中央大学教授) 学識経験者
- 山田 正子(公募) (50音順)

・令和7年7月17日(木) 開催

2 令和7年度組織・職員



館 長 (会計年度任用職員)	舘林 弘毅
副館長	徳永 和彦
副主幹	大滝 敦士 (生涯学習課文化財係併任)
学芸員	柳生 俊樹 (生涯学習課文化財係併任)
〃 (会計年度任用職員)	水橋 絵美 (文化スポーツ振興課文化振興係・生涯学習課文化財係併任)
一般職 (会計年度任用職員)	関 まゆみ



博物館外観

Ⅲ 展示

1 展示室

自然・原始古代・中世・近世・近代・民俗の6コーナー
柳沢遺跡重要文化財展示収蔵庫・青銅器映像展示

展示室実物資料(2026. 3. 31 展示中)

	件	点	指定物件	主な内容
自然	47	187		動物剥製・昆虫標本
原始古代	66	683	ナウマンゾウ化石(市)・土偶(市)・弥生土器(市)・高遠山(県)	化石・土器・石器・金属器・玉
(須恵器窯跡)	10	53		須恵器・窯体)
中世	16	82	鉦鼓(県)・埋納銭容器(市)	土器・陶磁器・金属器
近世	14	18		文書・絵図・版本
近代	2	2	中野町製糸場水車機械略図(市)	絵画
民俗	36	98		民具(生活・生産・信仰)
柳沢展示収蔵庫	11	226	柳沢 212(国)	青銅器・土器・石器・玉
合 計	192	1296	8	

2 水彩画展示室

旧「創造館」では、故西沢今朝夷氏の一括寄贈を受け、水彩画展示室を設置していた。それを受け、年間2回（6月・11月）の展示替で水彩画展示（文化スポーツ課所管）を継続するとともに、他の展示にも一部を利用している。

令和7年度も前年度に引き続き、水彩画展『ふるさとの記憶』のほか、『大西浩次 星景写真展』を実施し、途中入れ替え展示をしている。

無料エリアのため、正確な観覧者数は把握できない。

（水彩画11点・星景写真7点 2026.3.31 展示中）

3 テーマ展示

・春のテーマ展『アーカイブズで見る明治前期の豊津村』

会 期 4月12日(土)～5月19日(月)

主な展示品 旧豊津村戸長役場文書(中野市替佐「高橋長右衛門家」旧蔵文書)の控等；明治十五年一月一日調戸籍表、諸営業鑑札返納願、分離復旧御願、豊津村々会日誌稿、芝居興行来場勧誘状、共進会申告書 など

開館日数 36日

観覧者数 280名

・初夏のテーマ展『和書のデザイン』

会 期 5月31日(土)～6月29日(月)

主な展示品 山田松斎著『宝善堂記行』『参宮紀行 上・下』『経典穀名(全3冊)』・経典穀名考版本、李時珍編、武林銭蔚起較訂『重訂本草綱目啓蒙』、山田意齋著・葛飾北斎画『釈迦御一代記図会(全6巻)』、曲亭馬琴著・柳川重信画『南総里見八犬伝(全98巻)』 など

開館日数 30日

観覧者数 290名

・夏のテーマ展『南大原遺跡と栗林遺跡』

会 期 7月5日(土)～9月19日(金)

主な展示品 深鉢、打製石斧、磨製石斧、磨製石包丁、打製石鏃、石錐、半球状勾玉、管玉、甕、ミニチュア土器、石戈、有孔石剣、指輪、磨製石鏃 など

開館日数 66日

観覧者数 858名

・秋のテーマ展『中野代官のはんこ（印章）いろいろ』

会 期	10月25日(土)～12月28日(日)
主な展示品	年貢割付状記載の代官印章印面(写真)
開館日数	57日
観覧者数	308名

－ 5 －

・冬のテーマ展『昭和の暖房器具たち』

会 期	1月10日(土)～2月28日(土)
主な展示品	旧豊井小学校収集民俗資料中の暖房器具類；おがくずストーブ、火鉢、行火、こたつやぐら、電気こたつヒーター(掘りごたつ用・置きごたつ用)
開館日数	43日
観覧者数	154名

・高橋由一《第十一代山田莊左衛門顕善像》特別公開

会 期	9月26日(金)～10月13日(月・祝)
主な展示品	第十一代山田莊左衛門顕善像(2点)、「染付花文皿」(箱書「南京中皿 十枚 山田顕善」)
開館日数	16日
観覧者数	310名

・共催展『菊池契月・一雄展 ―絵と彫刻の縁―』(主催文化スポーツ振興課)

会 期	令和8年2月28日(土)～(5月6日(水・祝))
主な展示品	菊池契月《福原故事》《垓歌別離》《麗人》《薰袖》、菊池一雄《平和の群像(試作)》ブロンズ・石膏、《A子の首》ブロンズ・石膏、デッサン4点など(以上、文化スポーツ振興課所管)、菊池契月《花売女》《熊野》、菊池芳文《鳥図》、細野順耳《花図》、町田曲江《ケシの花》、佐野光穂《花図》(以上、旧小池家資料、令和7年度教育委員会新収品)
開館日数	77日

4 プラネタリウム

・年間投影番組

『名探偵コナン 探偵たちの星月夜』	(株)D&D ピクチャー
『くまのがっこう ジャッキーのおほしさま』	(株)D&D ピクチャー
『アステリアと星の道しるべ』	CLUTCH BASE
『ヤドカリくん、ほしをみに』	CLUTCH BASE
『ヤドカリくん、まんげつのひみつきち』	CLUTCH BASE
『見えない宇宙に挑む』	(合)アルタイル

- 『太陽 私たちの母なる星』 (合)アルタイル
 『宇宙への旅』 (合)アルタイル
 『ゆるり星空めぐり 星のいろいろ』 (合)アルタイル
 『ナナとハチ〜ちきゅうにおちてきたネコのものがたり〜』 (株)リブラ
 『星座解説〜春・夏・秋・冬〜各編』 (株)リブラ
 ・デジタル投影ソフト ステラドーム・プロ (株)アストロアーツ
 ・一般投影
 土・日・祝日 1日3回 11:00 13:30 15:00
 ・期間投影
 大型連休中 5月3日(土)〜5月6日(火・祝) 269人
 夏季期間投影 8月2日(土)〜8月17日(日) 652人
 冬季期間投影 12月24日(水)〜1月7日(水) 142人
 春季期間投影 3月18日(水)〜3月30日(月) 84人
 ・水曜プラネ 4月9日(水)〜3月11日(水) 40日間
 1日3回 11:00 【ママ&ベビーTime】
 13:30 【ゆったり癒しTime】
 15:00 【がっつり天文Time】
 ・団体投影(予約) 50団体 1,557人
 ・年間投影日数: 174日 投影回数: 384回

5 エントランス展示

エントランス活用のひとつとして、幅広い年齢層の来館者に向けて民俗資料を中心とした展示を行い、関連したワークショップも実施した。実際の資料に触れるたり、体験したりすることで、歴史や民俗への興味・関心を促し、調査・研究、整理、保存のあり方を見直す機会ともした。

- ・テーマ; 「ガラス乾板写真と民具展〜辰之のふるさと・豊田の風景」
 会 期; 7月25日(金)〜11月23日(日)
 主な展示品; 民俗資料; 上今井組消防ポンプ、纏、桑かご、箕、もぎ取りかご、唐箕(モーター式)、軍服、日の丸、柳沢歌舞伎の台本『茲江戸小腕達引』、柳沢歌舞伎の衣装「綺羅」、衣紋掛、うちわ ほか、ガラス乾板写真; 穴田消防組、出征写真、岡田電力精米所、線路のある風景、草花、二十日間貯蔵桑葉、補習学校の授業(昭和初期)、永田村小林さん方のリンゴ園、白波五人男 ほか
- ・テーマ; 「チョウ VS ガ」
 会 期; 12月6日(土)〜2月23日(月・祝)
 主な展示品; 主に東南アジアなどに生息するアゲハチョウの仲間、主に東南アジアなどに生息するカザリシロチョウの仲間、世界各地の

シロチョウの仲間、主に中南米に生息するフクロウチョウの仲間、マダラチョウの仲間、シジミチョウの仲間、ヒョウモンチョウの仲間、ヒトリガの仲間、シャチホコガの仲間、カレハガの仲間、ドクガの仲間、スズメガの仲間、ヤママユガの仲間、シャクガの仲間、ヤガの仲間

IV 講座等

1 講演会

- ・ 『宇宙を見て、聞いて、感じる～長野県のすごい望遠鏡たち～』
(天文学講演会)
講 師： 三澤 透 (信州大学全学教育センター教授)
期 日： 8月16日(土) 66人
- ・ 『宇宙人はいますか?』 (天文学講演会)
講 師： 縣 秀彦 (国立天文台天文情報センター准教授)
期 日： 11月1日(土) 29人
- ・ 『兵庫県から見た柳沢・銅戈～国宝 桜が丘銅鐸・銅戈とともに～』
(考古学講演会)
講 師： 萱原朋奈 (神戸市立博物館学芸員)
期 日： 11月8日(土) 25人
- ・ 『南大原遺跡における 令和7年度の発掘調査成果～弥生時代を中心に～』
(考古学講演会)
講 師： 依田健太 (長野県埋蔵文化財センター調査研究員)
期 日： 3月8日(土) 78人

2 学芸員講座

【学芸員と学ぶ講座】

- ・ 『古文書講座』
担 当： 大滝 敦士 学芸員
4月16日(水)～3月18日(水)
全12回 延べ88人
- ・ 『銅戈・銅鐸の研究～柳沢遺跡から列島へそして大陸へ～』
担 当： 柳生 俊樹 学芸員
4月18日(金)～2月20日(金)
全11回 延べ60人

3 市民主体の講座

【みんなで研究コース】

- ・ 『身近な植物から考える中野市の自然』

講 師： 湯本明雄

4月26日(土)～2月28日(土)

全11回 延べ100人

・ 『中野市の野鳥を科学する』

担 当： 本村 健(生涯学習課学芸員)

4月20日(日)～3月15日(日)

全12回 延べ143人

・ 観望会

講 師： 信州中野天文同好会

5月24日(土)『春のほしぞらをみよう!』 25人

8月16日(土)『夏のほしぞらをみよう!』 74人

10月18日(土)『秋のほしぞらをみよう!』 8人

3月20日(金・祝)『早春のほしぞらをみよう!』 36人

・ ふるさとレポート発表会

3月8日(日) 78人

第1部 中野市立博物館実施の講座参加者による成果発表

・ 「花ガイド2025 新たな魅力の発見～身近な疑問を大切に～」
湯本明雄

・ 中野市における渡り鳥の渡来渡去時期について
—2025年度観察結果—

本村 健 (生涯学習課学芸員)

・ 「斑尾川周辺における ハシボソガラスの被食について」
平野寿枝

第2部 生涯学習課・博物館学芸員による成果発表

・ 北信地方におけるチョウゲンボウの分布状況の変化
本村 健 (生涯学習課学芸員)

・ 中野市ゆかりの近現代芸術史概観 ～菊池契月から高木こずえまで
～

水橋 絵美(学芸員)

・ 中野代官の印章

大滝 敦士(学芸員)

・ 平安時代考古学の再出発～南大原遺跡の発掘調査成果に寄せて～

柳生 俊樹(学芸員)

第3部 講演会

『南大原遺跡における令和7年度の発掘調査成果

～弥生時代を中心に～』

長野県埋蔵文化財センター 調査研究員 依田健太

4 体験講座

【キッズ・アカデミー】 合計 子ども 189 人 おとな 68 人

<電子科学系>

- ・ こどもパソコン「IchigoJam」本体づくり
6月21日(土) 子ども 5人 おとな 3人
- ・ こどもパソコン「IchigoJam」LED ボタンづくり
8月2日(水) 子ども 14人 おとな 12人
- ・ 目指そう未来のロボット戦士ーロボット入門ー
8月6日(水)・7日(木)・8日(金) (連続3回)
延べ参加者 8名
- ・ 電波ってなあに? 「FMラジオをつくろう!」
9月20日(土) 子ども 11人 おとな 10人
- ・ こどもパソコン「IchigoJam」本体づくり
11月29日(土) 子ども 6人 おとな 3人
- ・ こどもパソコン「IchigoJam」LED クリスマスツリー
12月20日(土) 子ども 11人 おとな 8人
- ・ 光とメロディーが流れる電子ごまをつくろう!
2月14日(土) 子ども 6人 おとな 4人
- ・ 目指そう未来のロボット戦士ーロボット入門ー
3月25日(水)・26日(木)・27日(金) (連続3回)
延べ参加者 17名

<自然・文化系>

- ・ 綿でつくる小さなどうぶつ
5月10日(土) 子ども 9人 おとな 8人
- ・ バラ入り和紙で和本をつくろう!
6月14日(日) 子ども 5人 おとな 4人
- ・ つくって焼いてドッキ土器☆ ～土器づくり～
10月4日(土) 子ども 3人 おとな 1人
- ・ つくって焼いてドッキ土器☆ ～野焼き～
10月18日(土) 子ども 3名 おとな 5人
- ・ キラキラ★ステンドグラスでりんごのコースターをつくろう!
10月27日(日) 子ども 8人 おとな 5人

【ワークショップ】 合計 子ども 112 人 おとな 8 人

- ・ 星座早見盤体験 (11月～) 合計 17 日 参加者 102 人
- ・ 勾玉体験 (年間) 合計 1 日 参加者 1 人
- ・ 勾玉づくり
5月17日(土) 参加者 10 人 (文化公園グリーンフェスタ)

11月2日(日) 参加者4人 (文化公園オータムフェア)

- ・ エントランス展関連事業 ガラス乾板体験
11月15日(土) おとな3人

5 その他の館内講座等

- ・ 食改学習会 星空ヒーリングプラネタリウム 関 まゆみ(プラ解説員)
6月24日(火) 健康づくり課講座 16人
- ・ ほしぞら Study☆星宙散歩 関 まゆみ(プラ解説員)
(夏) 8月16日(土) 26人
(秋) 11月8日(日) 1人
- ・ 認知症サポーター講座 星空ヒーリングプラネタリウム
関 まゆみ(プラ解説員)
8月17日(日) 高齢者支援課講座 34人
- ・ 中高飯水理科同好会研修会 関 まゆみ(プラ解説員)
10月30日(木) 22人
- ・ 親子 de アカデミー「国立天文台プロデュース天体望遠鏡づくり」
11月1日(土) 国立天文台天文情報センター 縣 秀彦/関まゆみ

6 館外講座

○講師派遣

- ・ 6月13日(金) 10人
担当 柳生 俊樹(学芸員)
内容 高遠山古墳現地見学解説 <日野小学校地域探検クラブ>
- ・ 9月27日(土) 47人
担当 関 まゆみ(プラネタリウム解説員)
内容 タカギセイコーふるさとパーク「秋の星空さんぽ」出張解説 <信州なかの産業・観光公社>
- ・ 10月26日(日) 20人
担当 柳生 俊樹(学芸員)
内容 考古学から見た中野扇状地端部の開発 出張講座 <西条区公民館>
- ・ 10月26日(日) 15人
担当 水橋 絵美(学芸員)
内容 紙すき・和本づくり出張体験教室 <図書館>
- ・ 3月3日(火) 40人
担当 関 まゆみ(プラネタリウム解説員)
内容 東江部区育成会「皆既月食観望会」出張解説 <東江部区公民館>

V 資料

1 収蔵・展示する指定文化財

- ・重要文化財 『柳沢遺跡出土品』 (銅鐸・銅戈等 212 点)
- ・県宝 『高遠山古墳出土品』 (鉄剣・銅鏃等)
『鉦鼓』
- ・市指定有形文化財 『土偶』 (1 点)
『弥生式土器』 (1 点)
『ナウマン象臼歯』 (2 点)
『埋納銭及び埋納銭容器』 (銭・木箱・珠洲焼甕等)
『中野町製糸場水車器械略図』
- ・出土品・映像等を収蔵・展示する指定文化財
 - 史跡 高梨氏館跡
 - 天然記念物 十三崖のチョウゲンボウ繁殖地
 - 県史跡 栗林遺跡
中野県庁(陣屋)跡
高梨氏城跡(鴨ヶ岳城)
七瀬双子塚古墳
高遠山古墳
 - 市指定史跡 林畔 1 号古墳
建応寺跡
金鎧山古墳
 - 市指定無形民俗文化財 小内八幡神社青獅子 (安源寺)
日和山神社鬼獅子 (草間)
上今井諏訪社太々神楽
赤岩の宣澄踊り
餅かえ行事 (小沼)
赤岩の太々神楽 (高杜神社)
新野の式三番叟 (新野神社)
松川の川崎踊り
大俣の水神祭

2 資料利用

○貸出

- ・柳沢遺跡出土(2号銅鐸・6号銅戈)
神戸市立博物館「銅鐸とムラ」(6月18日(水)～9月11日(木))
- ・柳沢遺跡出土(7号銅戈(重文)・壺形土器(重文)・シカ絵土器(重文)・磨製石鏃(重文)・扁平片刃石斧・太型蛤刃石斧(重文)・管玉一式(重文)・勾玉2点・打製石鏃(重文)・打製石鏃)

十日町博物館 令和7年度秋季特別展「弥生時代のアクセサリー」(9月12日(金)～11月12日(金))

- ・民俗資料10点(水筒・出征国旗・キャッチャーマスク・キャッチャーミット・飯盒・防空頭巾・軍隊靴・曹長軍服・尋常小学校算術一学年上・下ほか教科書類)

平和のための信州・戦争展 in 中野開催実行委員会「平和のための信州・戦争展 in 中野」(8月6日(水)～8月16日(土))

○閲覧・調査

- ・沢田鍋土遺跡出土品(円筒形土製品を中心に)

5月15日(木) 個人3名

- ・安源寺城跡前方後方形墳丘墓出土品・五里原遺跡(吉田宮脇遺跡)出土品(弥生後期土器)

5月28日(水) 個人2名

- ・柳沢遺跡出土品(7号銅戈ほか10件)

7月16日(水) 十日町博物館

- ・戦前・戦中・戦後の教科書類

7月30日(水) 平和のための信州・戦争展 in 中野開催実行委員会

- ・栗林遺跡出土指輪状石製品・神田五六資料(栗林遺跡出土)勾玉・栗林遺跡出土石器

8月14日(木) あいち朝日遺跡ミュージアム

- ・豊田村高橋家文書(旧豊津村戸長役場文書)

11月10日(月) 個人1名

- ・戦前・戦中期の教科書類(改制 女子国文新読本 五年生用 巻五ほか)

7月23日(水) 平和のための信州・戦争展 in 中野開催実行委員会

VI 運営・利用実績

1 運営

- ・開館時間 9時～17時 (4月～11月)
10時～16時 (12月～3月)
- ・休館日 毎週火曜日(祝日は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
- ・年間開館日数 299日
- ・年間休館日数 66日
- ・観覧料
常設展示室 一般300円(団体240円) 高校生以下150円(団体120円)
プラネタリウム 一般600円(団体480円) 高校生以下300円(団体240円)
共通券 団体料金に準じる

- ※ 未就学児、市内小中学生・70歳以上 無料
- ・広報なかの『博物館だより』 4月号～3月号
全戸配布
館行事の広報等
 - ・キッズ『博物館だより』 5月、6月、夏休み、9月、10月、11・12月、
1・2月、3月
市内小・中学校及び各施設配布
キッズアカデミー等の案内募集等

2 入館者・利用者（4月1日～3月31日 開館；299日）

・常設展示室	2,644 人
・プラネタリウム	4,114 人
・研修室	103 人
・講座・講演等	989 人
・無料スペース	1,238 人
合計	9,088 人

中野市立博物館 年報 9

2025（令和 7）年度

〒383-0046

長野県中野市片塩 1221（北信濃ふるさとの森文化公園内）

TEL・FAX 0269-22-2005

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/hakubutukan/>

Email hakubutsukan@city.nakano.nagano.jp

2026（令和 8）年 4 月 30 日発行